

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度	平成12年度		
根拠法令・例規等	備前市諸島地区高齢者等介護支援渡航費助成事業実施要綱		
総合計画	大項目 基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」
	中項目 基本計画	06	誰もがいつでも安心して暮らせるまち
	小項目 施策	21	高齢者への福祉の充実
事務事業名	07	諸島地区高齢者等渡航費補助事業	
問	担当課(室)	日生総合支所 窓口管理課	
合	職・氏名	参事 西角 桂子	
先	電話	72-1102	
このシート作成に要した時間			7.0 時間

Plan

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	備前市日生町の諸島地区に居住する高齢者等又はサービス事業者
目的(何のために)	諸島地区に居住する高齢者等が福祉サービスを受け、又はサービス事業者が福祉サービスを提供するために要した渡航費の一部を助成することにより、高齢者等の福祉の向上を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	諸島地区の介護サービス利用者が、できるだけ地理的不利益を受けないようにする。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
諸島地区高齢者等渡航費補助事業	福祉サービスを受けるために支払った諸島地区と日生港間の渡航費に相当する額、1ヶ月につき4回まで、ただし、フェリー船に係る助成は2回まで、サービス事業者はサービスを提供するために要した額を助成する。	○	
目的を達成するため実施した事業			

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
事業費	千円	276	206	269
必要人員	人	0.02人	0.03人	0.01人
事業費	千円	457	471	348
国県支出金				
受益者負担				
繰入金				
市債				
その他()				
一般財源	千円	457	471	348
受益者負担比率	%	-	-	-

結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	結果指標量				
	対前年比	%	-		
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

事業の成果 (平成25年度事業)					
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
介護保険サービス利用人数	目標値 (A)	7	9	8	8
	実績値 (B)	9	8	8	到達目標値
		達成率 (B/A)	128.57%	88.89%	100.00%
成果指標設定の考え方・式や説明					
当該事業が地理的ハンデを軽減するためのものであるところから、成果指標を諸島地区の介護保険の利用状況とした。					

Check

事務事業の評価	該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	
妥当性の評価	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い

事業の目的やその数値目標に留意しながら

進行年度 (H26年度) の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				
説明	平成12年度から開始された事業であるが、19年6月から、対象者及び助成回数が増加された。また、23年度からは、要介護者の支援にかかるヘルパーの渡航費についても補助対象となった。平成27年4月の備前・日生大橋開通に向けて、バス路線等の公共交通体制及び定期船航路また地区住民の要望を踏まえた上で継続、縮小等について見直しをする必要がある。なお、この事業を所管する正当な担当課へ移行することについても再検討する必要がある。						

総合評価	
離島で暮らす高齢者等が福祉、介護サービスなどを利用するとき、地理的不利益が生じないようにするための助成事業であり、この事業の継続はやむを得ない。	総合評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い

Action

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				
取組目標	鹿久居島・本土間の橋が27年3月に完成、4月に開通することにより、鹿久居島、頭島が本土と陸続きになるため、この事業について、介護福祉課、福祉事務所及び備前市公共交通会議等とも連携をとりながら協議し方向性を確定させる必要がある。なお、この事業を所管する正当な担当課へ移行することについても再検討する必要がある。						